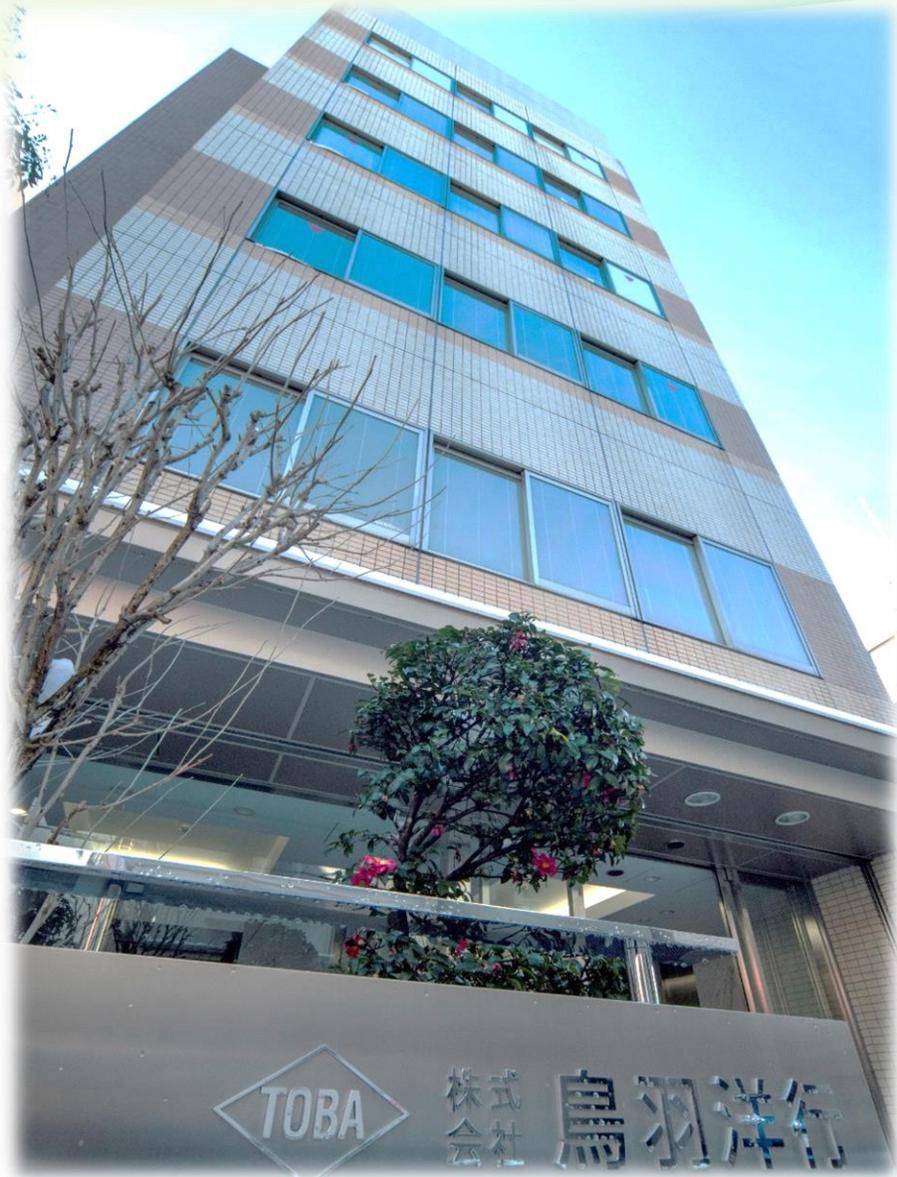


証券コード:7472

“百年の信頼を未来につなげる”

会社説明会

2025年8月23日（土）
株式会社鳥羽洋行



東京都文京区 本社ビル 外観

- ◆ 鳥羽洋行を知る
- ◆ 業績について
- ◆ 今後の戦略について
- ◆ 積極的な株主還元



株式
会社

鳥羽洋行

◆ 鳥羽洋行を知る

株式会社鳥羽洋行 (TOBA,INC.)

- **上場市場**：東京証券取引所スタンダード（証券コード 7472）
- **所在地**：東京都文京区水道二丁目8番6号
- **資本金**：11億4,800万円
- **従業員数**：【連結】301人 【単体】262人 ※2025年6月末日現在。従業員数は、嘱託・派遣社員を含む。
- **ISO14001**：2007年2月に本社および全営業所で認証取得
- **ISO9001**：2019年7月に本社および全営業所で認証取得



創業から119年、生産設備の専門商社としてモノづくりに貢献

1906年（明治39年）9月

創業（中国大連市）



創業者：鳥羽真作 および 大連時代の本社

1949年（昭和24年）12月

設立（東京都中央区銀座）



旧本社（銀座） 二代目社長：鳥羽実

1995年（平成7年）11月

株式店頭公開
（のちのJASDAQ）



現在の本社（文京区）

2022年（令和4年）4月

市場再編により
スタンダード市場へ



企業理念

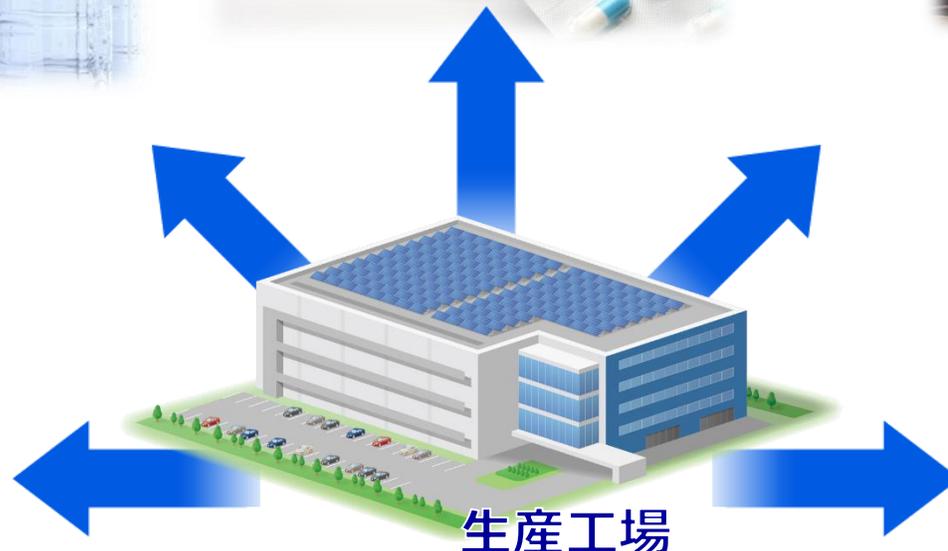
百年の信頼を未来につなげるため、「**信用第一主義**」を貫き、
産業の発展と地球環境に貢献する企業を目指します。

社是

1. 当社は社会人類に貢献するためにある。
2. 当社は社員の向上と幸福を計るためにある。
3. 当社は最大ならずとも最良の会社たることを期する。
4. 当社は明朗、勤勉、練達の社員のみをもって結成する。
5. 当社は何事にも無理なく、堅実に、しかも進取、独創、
能率的に経営し、信用を第一におく。

鳥羽洋行を知る ～生産設備の専門商社～

私たちの生活を取り巻くあらゆるモノが工場で作られています。



鳥羽洋行は、あらゆる生産設備に関する商材を取り扱う「メカトロニクスの専門商社」です。

鳥羽洋行を知る ～主な取扱商品分類～

制御機器



エアシリンダ・バルブ
(空気圧機器)



LMガイド



チラー
(温調機器)



各種センサ

FA機器



協働ロボット



産業用ロボット
(大型・小型)



マウンター
(半導体・電子部品)



無人搬送車 (AGV)

産業機器



ろ過フィルター
(半導体)



電気チェーンブロック
(揚重機)



電動ドライバー
(組立て工具)

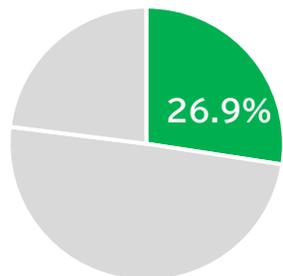


ベルトコンベア
(搬送)

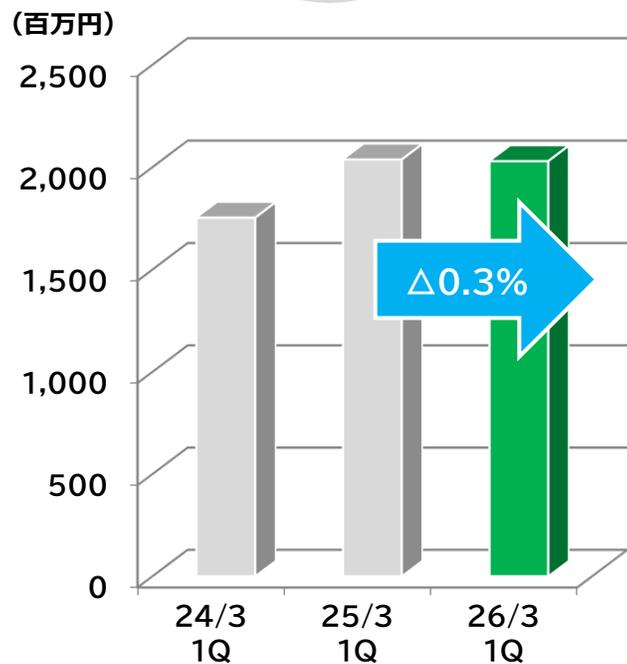
制御機器

連結売上高

20億29百万円



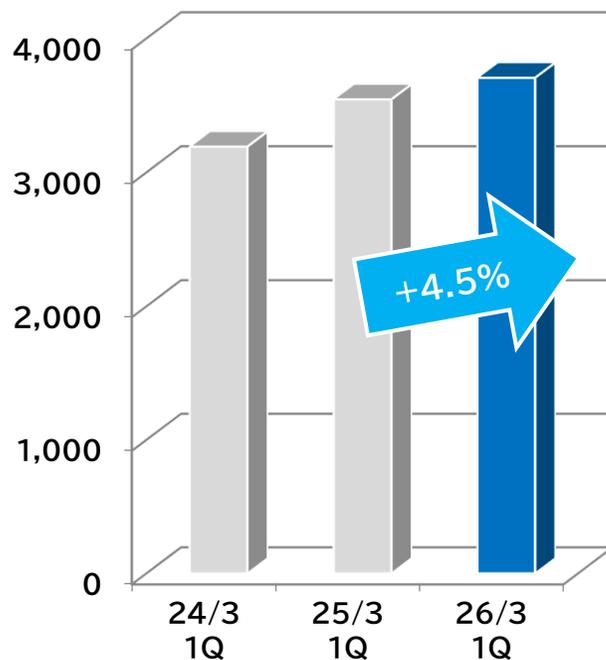
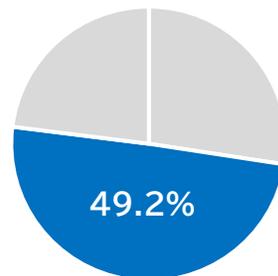
(百万円)



FA機器

連結売上高

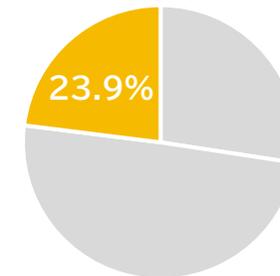
37億05百万円



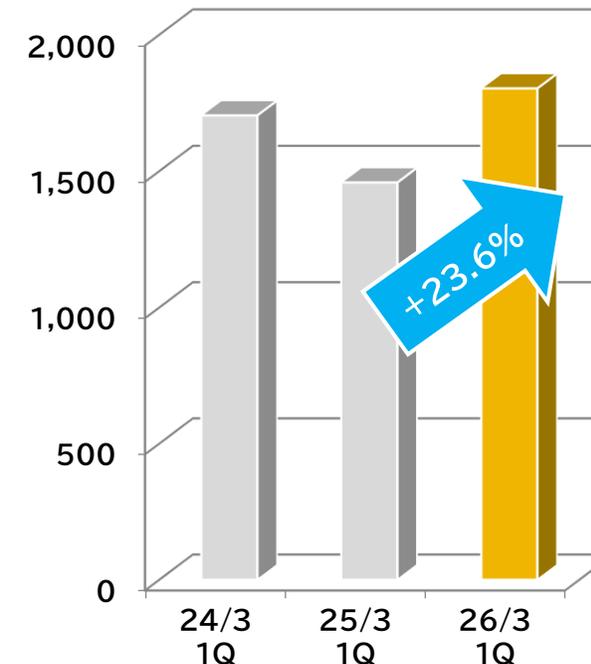
産業機器

連結売上高

18億03百万円



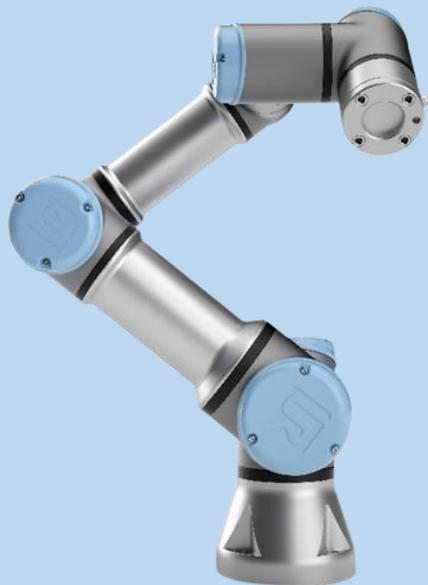
(百万円)



鳥羽洋行を知る ～注目商品『協働ロボット』～

協働ロボットとは、本体に安全センサーを組み込むなど、**人に対する安全性を確保**できるようになったロボットです。安全柵等の特別な対策を講じる必要が少なく、**作業者のすぐ近くで使用できる**ことから、導入の幅が広がっております。

ユニバーサルロボット
UReシリーズ



カワダロボティクス(株)
NEXTAGE Fillie

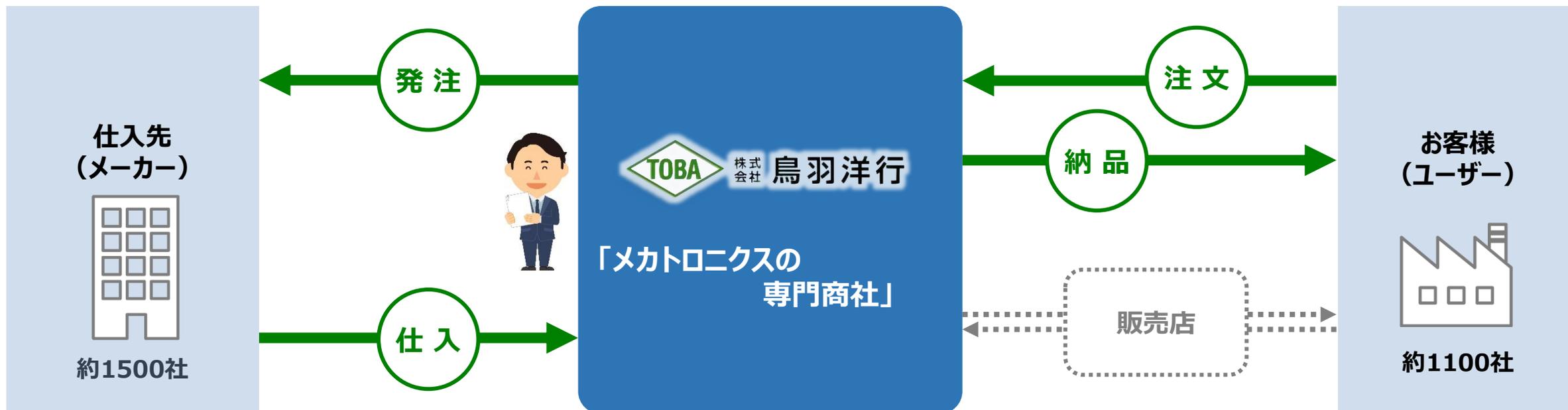


写真提供：カワダロボティクス株式会社



鳥羽洋行を知る ～販売体制（直販体制）～

当社は、お客様(ユーザー)へ直接販売を行う「直販体制」を構築しております。



「直販体制」のメリット

- ・ お客様の情報をダイレクトかつタイムリーに収集できる
- ・ お客様の要求に対して最適な提案とスムーズな交渉ができる
- ・ 販売店を介さないため短納期で商品を提供できる

鳥羽洋行を知る ～卓越した専門スキル～

鳥羽洋行では、営業担当者による各種専門資格の取得を推進しております。国家資格に加え各メーカーの**SE（セールスエンジニア）認定**などを取得し、メーカーの代行営業を実施しております。

※取得者には一定期間資格手当が支給されます。

各種資格の取得者数（重複所持含む）

■ 空気圧装置組立技能士 1級	80名
■ 空気圧装置組立技能士 2級	60名
▲ SMC SE認定	67名
▲ IAI SE認定	57名
▲ デンソーロボット SE認定	50名
▲ パナソニック IPD・モーター SE認定	3名
■ 2級建築施行管理技術	1名
■ その他	7名

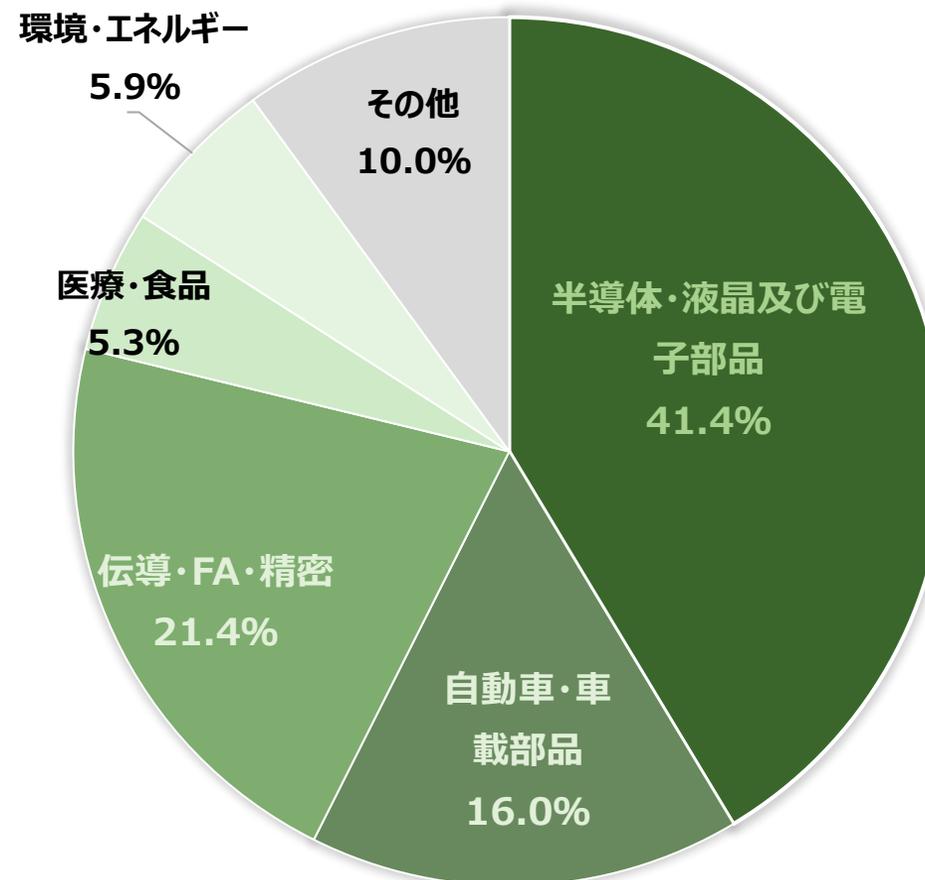


※表内は、2025年6月末時点の取得状況です。

鳥羽洋行を知る ～主な取引先（販売先）～

取引先（販売先）一例 （グループ会社含む・順不同・敬称略）

■ キヤノン株式会社
■ 株式会社ダイフク
■ トヨタ自動車東日本株式会社
■ 株式会社デンソー
■ 株式会社ニコン
■ 京セラ株式会社
■ 株式会社日立製作所
■ ソニー株式会社
■ 株式会社東京精密
■ 株式会社ディスコ
■ 株式会社アドバンテスト
■ レーザーテック株式会社



※円グラフ%は、2026年3月期第1四半期の売上高構成比（単体）です。

その他 約 **1,100**社

鳥羽洋行を知る ～国内販売ネットワーク～

国内23ヶ所の営業拠点

全国各地に拠点を設置し、徹底したサポート体制を実現。



松本営業所

西日本ブロック

滋賀営業所
大阪営業所
兵庫営業所
広島営業所
福岡営業所
大分営業所

関東ブロック

茨城営業所
千葉営業所
東京営業所
東京南営業所
八王子営業所
厚木営業所
甲府営業所

北関東ブロック

青森営業所
仙台営業所
宇都宮営業所
前橋営業所
熊谷営業所
川越営業所

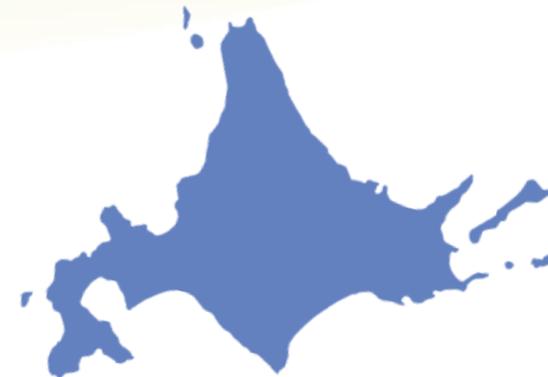
本社

営業本部・管理本部
特機システム部
海外事業グループ
仕入グループ

中部ブロック

松本営業所
静岡営業所
名古屋営業所

四日市営業所 ※2024年4月開設



熊谷営業所

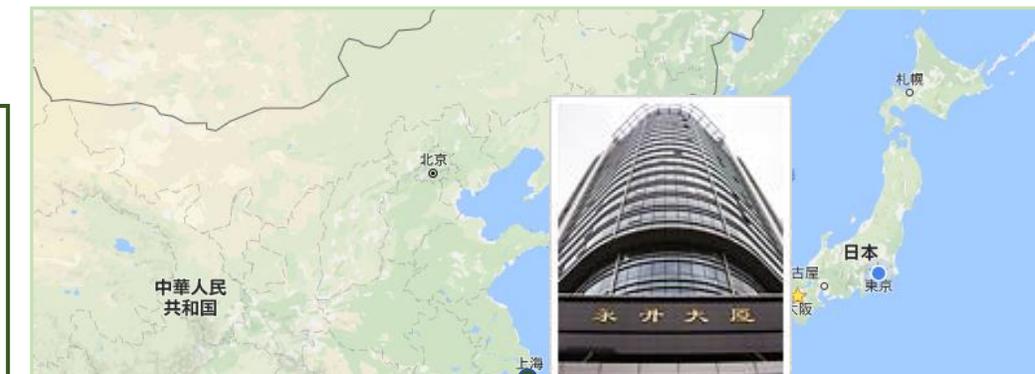


四日市営業所

海外 3カ国、5カ所の営業拠点を配置

中国

鳥羽（上海）貿易有限公司（2008年）
（同公司）深圳分公司（2011年）
（同公司）蘇州分公司（2014年）



ベトナム

TOBA, INC. (VIETNAM) CO., LTD (2020年)
所在地：ハノイ



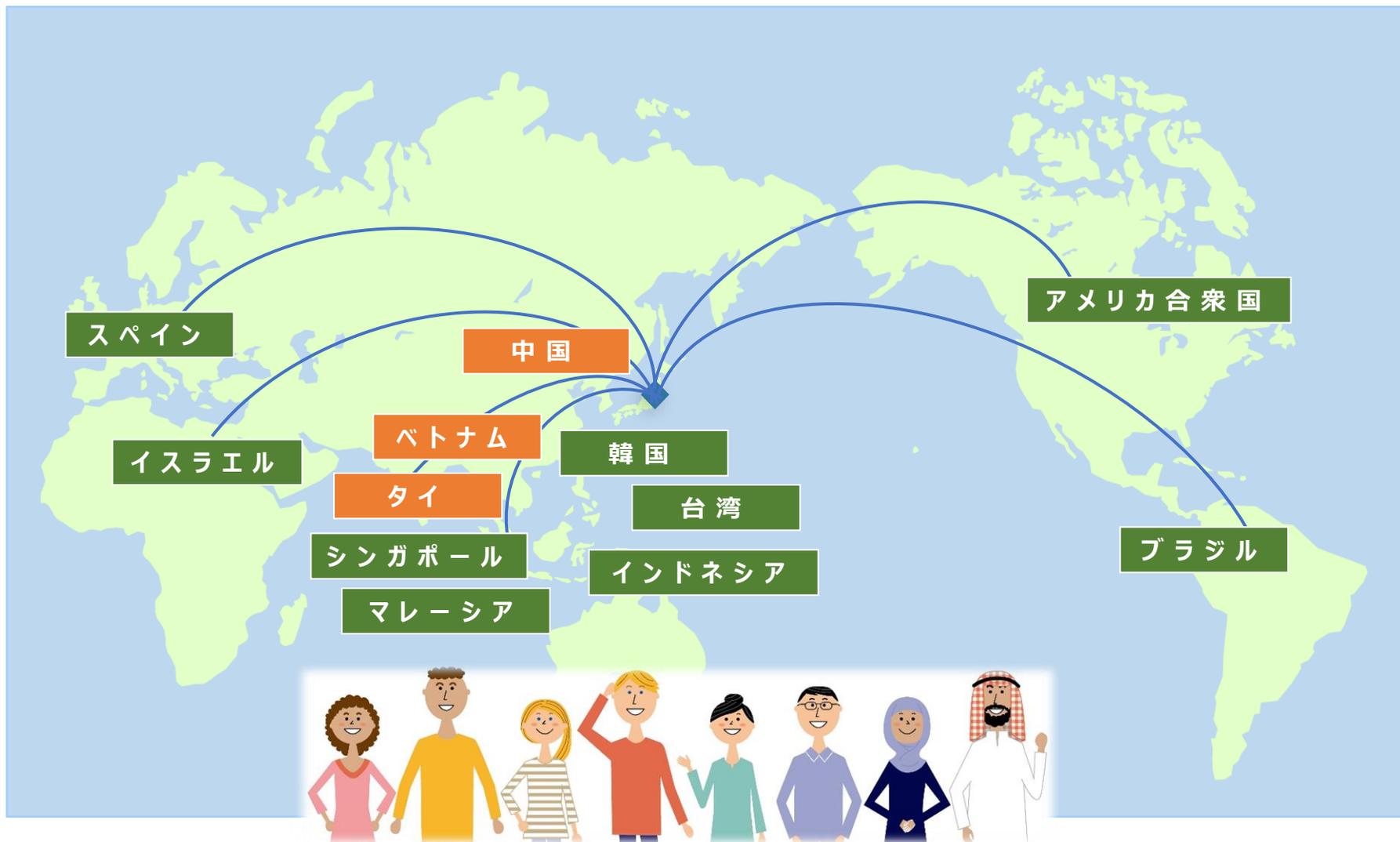
タイ

TOBA (THAILAND) CO., LTD. (2012年)
所在地：バンコク



鳥羽洋行を知る ～海外販売ネットワーク②～

「海外事業グループ」を通じて国内から全世界へ商材を販売しております。





株式
会社

鳥羽洋行

◆業績について

業績について ～2026年3月期第1四半期決算①～

<連結損益計算書の概要>

(単位：百万円)

	25/3月期 1Q	26/3月期 1Q	前期比 (増減率)	備考
売上高	7,040	7,539	7.1%	国内外の売上が、前年を上回る 特に中国子会社が、好調に推移
営業利益	291	416	42.9%	売上総利益が、前年比10.9%増 売上総利益率も0.5ポイント改善
営業利益率	4.1%	5.5%	1.4P	
経常利益	339	452	33.3%	
経常利益率	4.8%	6.0%	1.2P	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	229	319	39.3%	
四半期純利益率	3.3%	4.2%	0.9P	

業績について ～2026年3月期第1四半期決算②～

<連結貸借対照表の概要>

(単位：百万円)

	25/3月末	構成比 (%)	25/6月末	構成比 (%)	備考
流動資産	23,284	75.8	21,755	74.6	
現金・預金	10,472	34.1	10,144	34.8	
受取手形・売掛金 ・電子記録債権	12,022	39.1	10,901	37.4	
商品	604	2.0	615	2.1	
固定資産	7,443	24.2	7,416	25.4	
資産合計	30,728	100.0	29,172	100.0	
流動負債	9,280	30.2	7,951	27.3	
支払手形・買掛金 ・電子記録債務	8,474	27.6	7,380	25.3	
固定負債	465	1.5	513	1.8	
負債合計	9,746	31.7	8,465	29.0	
純資産合計	20,982	68.3	20,707	71.0	
負債純資産合計	30,728	100.0	29,172	100.0	

業績について ～今期 連結業績予想～

(単位：百万円)

	25/3月期 (実績)	26/3月期 (予想)	前期比 (増減率)
売上高	31,565	33,000	4.5%
営業利益	1,684	1,850	9.8%
営業利益率	5.3%	5.6%	0.3P
経常利益	1,812	1,950	7.6%
経常利益率	5.7%	5.9%	0.2P
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,231	1,350	9.6%
当期純利益率	3.9%	4.1%	0.2P



株式
会社

鳥羽洋行

◆ 今後の戦略について

当社グループを取り巻く市場環境

◆ 半導体関連

生成AIの普及を背景としたデータセンター等への設備投資が堅調に推移し、高性能半導体に係る設備投資は底堅く推移する見込みではあるものの、自動車向けパワー半導体やメモリ半導体需要の回復時期が不透明。

◆ 自動車・車載部品業界

自動車の生産台数は、低迷していた2024年度から回復傾向に推移しているものの、米国の関税政策等の影響を受ける可能性あり。

◆ 自動化システム

生産現場における労働力不足を補う自動化システム案件は増加傾向にあり、ロボットやFA機器の販売は底堅く推移する見込み。

◆ 環境負荷低減商材

カーボンニュートラルに向けた取組みが拡大する中で、CO2排出量削減効果の高い商材の発掘、拡販により他社との差別化と企業価値の向上を目指す。

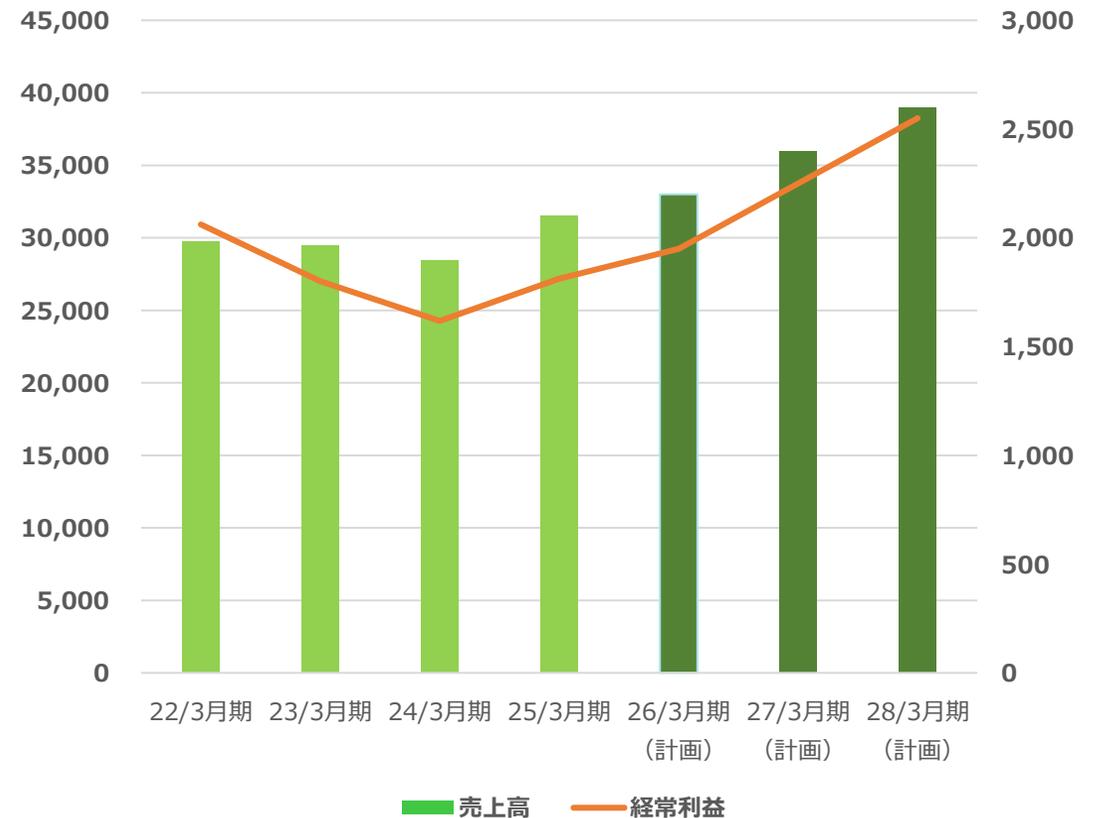
Next Stage 2028

～ 新たなステージへ ～

(単位：百万円)

	第77期	第78期	第79期
	2026年 3月期	2027年 3月期	2028年 3月期
売上高	33,000	36,000	39,000
営業利益	1,850	2,150	2,400
経常利益	1,950	2,250	2,550
当期純利益	1,350	1,550	1,700

(単位：百万円)



※当社グループは、経営環境の変化等に対応すべく「ローリング方式」により、中期経営計画を毎年度策定することとしております。

◆ 5つの柱 ～中期経営計画達成への取組み～

1 次世代の柱となるユーザー新規開拓、育成

- ・積極的な展示会出展と来場者フォローによる新規顧客開拓
- ・自動車・車載部品及び半導体関連顧客への販売強化
- ・M & Aによるシナジーを活かした売上/利益の拡大

2 新商材発掘（SDGs/環境や人にやさしい商品）

- ・環境負荷や労働負荷を低減できる新たな商材の発掘
- ・カーボンニュートラルに向けたサプライヤーとの連携強化

3 装置ビジネスの更なる販売強化

- ・労働力不足を補う自動化機器とロボットの販売強化

4 技術商社としての存在価値強化（ブランド強化）

- ・各種専門資格等の取得による提案型営業の推進

5 海外拠点との連携強化

- ・新規海外拠点の検討
- ・海外子会社への人材積極投入



大型展示会へ積極出展
TOBAブランド強化



M&Aによる事業規模の拡大
販路拡大に向け継続的に検討



協働ロボットや小型～中型の
産業用ロボット販売に注力

PUDU T300



©Pudu Technology Inc. | SoftBank Robotics

AMR：自動搬送ロボット
工場や倉庫での物流搬送で需要拡大

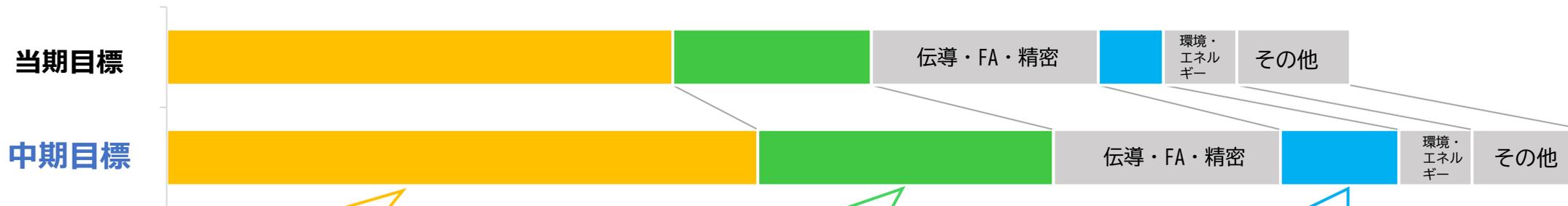


自動化装置ビジネスで生産性
向上と労働力不足解消に貢献

今後の戦略について ～事業戦略②～

◆新市場開拓 ▶▶▶ 業種別シェアの拡大

成長チャンスをいち早く察知し、新たな社会需要を取り込む



半導体・液晶及び電子部品

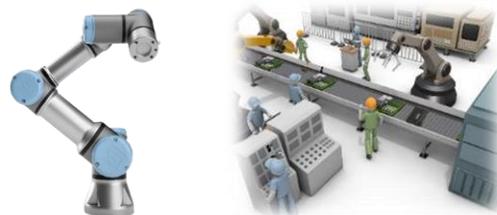
生成AI/5G/メタバース等の情報通信技術普及による中長期的な半導体関連設備投資は旺盛に推移。他社には無い、付加価値の高い商材を投入し市場拡大する。



注力商材：空気圧機器、ろ過フィルター

自動車・車載部品

既存顧客に加え、新規HV関連設備への商材と自動化システムを積極提案し、当社業種別シェアを25%へ拡大。当社の主軸となる業種として育成する。



注力商材：ロボット、自動化システム

医療・食品

M&Aにより、理化学系商社を完全子会社化。当社業態と異なることから相互補完関係にあり、お互いの保有する優れた商材と販売ノウハウを共有し事業拡大を目指す。



注力販売先：医療/大学・研究機関

今後の戦略について ～大型展示会出展①～

◆2025年度出展実績・予定

●第5回 スマート工場内の搬送系および協働ロボット利活用展

会 場：東京ビッグサイト

開催日：2025年7月23日～25日

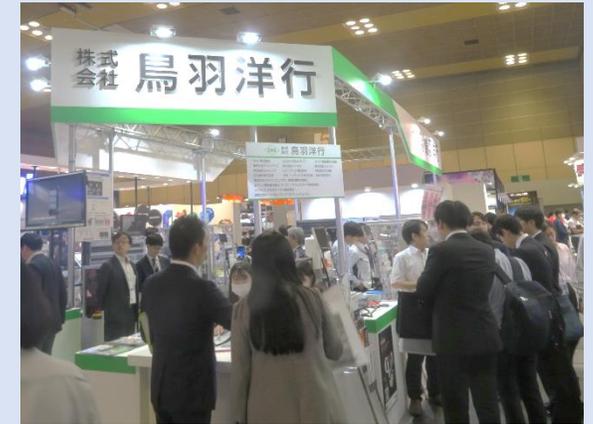
来場者数：1,964名



●第28回 機械要素技術展【大阪】

会 場：インテックス大阪

開催日：2025年10月1日～3日



昨年の展示会場ブースの様子

当社の取扱い商品や事業内容を紹介し、商談を行いました。今後の注力商品についてもデモ機実演を交えて紹介し、具体的な引き合いを多数いただきました。

ご来場いただいた方々へのフォロー活動を実施し、今後の取り引き拡大へ努めています。

今後も大型展示会に出展し、売上規模拡大や新規顧客開拓を取り組み、「TOBAブランド」の強化と企業価値の向上を目指します。



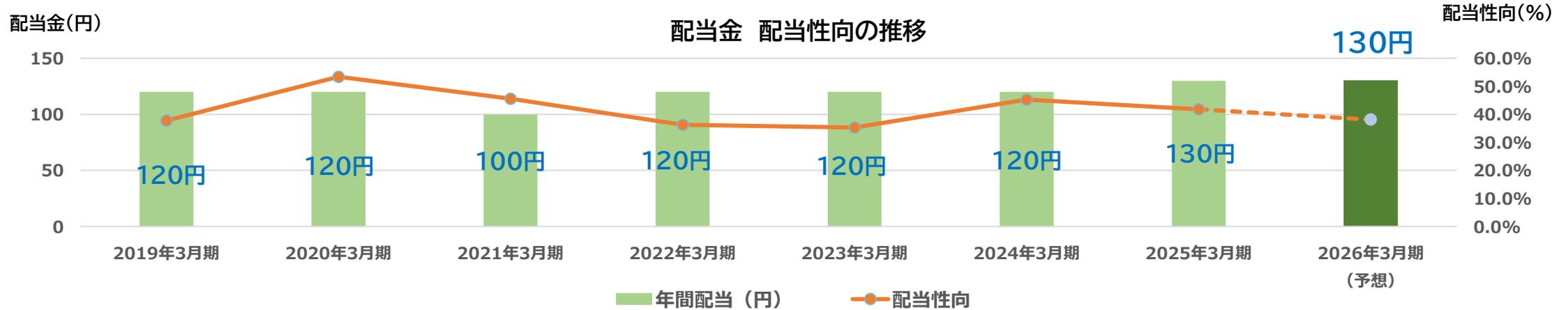
株式
会社

鳥羽洋行

◆ 積極的な株主還元

積極的な株主還元 ～配当及び自己株取得～

- ＜配当方針＞
- ◆ 配当方針：長期的、安定的な利益還元の実施を目標とする
 - ◆ 連結配当性向を35%以上とし、一株当たりの配当金を下限40円とする



- ＜自己株式の取得状況＞
- ◆ 自己株式の取得等の間接的な株主還元についても機動的に実施

実施時期	取得株式数	取得単価	取得額	発行済み株式総数に対する割合
2021年11月	70,000株	2,561円	179百万円	1.4%
2022年2月	50,000株	2,780円	139百万円	1.0%
2022年11月	145,000株	2,750円	398百万円	3.1%
2023年5月	33,800株	2,940円	99百万円	0.7%
2023年11月	80,000株	3,115円	249百万円	1.7%
2024年5月	56,000株	3,600円	201百万円	1.1%
合計	434,800株	-	1,267百万円	9.2%

積極的な株主還元 ～株主優待と利回り～

<株主優待について>

- ◆ 株主優待は、「QUOカード」を採用しております。
- ◆ QUOカード購入代金の一部は、「緑の募金」へ寄付されます。

※株主優待の割当基準日は、毎年9月末日です。



対象株主	継続保有 3 年未満	継続保有 3 年以上
100株以上500株未満	1,000円	2,000円
500株以上1,000株未満	2,000円	4,000円
1,000株以上	3,000円	6,000円

<配当/優待利回りの実績>

◆ 配当金と株主優待での実質利回り

※利回り算出に使用した値 : 1株あたり配当額は当期予想の130円、 株価は2025年8月22日の終値3,970円

投資株式数	保有年数	投資金額(円)	年間配当額		優待 (クオカード)		配当 + 優待	
			(円)	配当利回り	(円)	優待利回り	(円)	実質利回り
100株	3年未満	397,000	13,000	3.27%	1,000	0.25%	14,000	3.53%
	3年以上				2,000	0.50%	15,000	3.78%
500株	3年未満	1,985,000	65,000	3.27%	2,000	0.10%	67,000	3.38%
	3年以上				4,000	0.20%	69,000	3.48%
1,000株	3年未満	3,970,000	130,000	3.27%	3,000	0.08%	133,000	3.35%
	3年以上				6,000	0.15%	136,000	3.43%

※ 小数点第 3 位を四捨五入しております。

積極的な株主還元 ～株価・配当予想～

終値 (8/22) **3,970円**

今期の配当金予想 **130円**

※2025年5月9日発表

予想配当利回り **3.27%**

株式会社鳥羽洋行
証券コード

7472

<https://www.toba.co.jp/>



この資料には、2025年8月7日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

■ お問い合わせ先

株式会社 鳥羽洋行

管理本部総務グループ I R 担当

住 所：〒112-0005

東京都文京区水道2丁目8番6号

電話番号：03-3944-4031

F A X：03-3944-4091

E メール：kanri-01@toba.co.jp